

１ 社会・治安情勢

（１）新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴う各種規制の緩和に伴い、来越する外国人観光客が増加する中、ハノイ市内の各観光地において、これらの観光客をターゲットとした犯罪の発生が増加している。

（２）強盗、薬物、人身売買など重大凶悪事件の発生や検挙が日々報道されており、特に薬物関係の事案はハノイ市内及び周辺部でも散見されるようになっている。

在留邦人や邦人旅行者からは、スリや置き引きなどの窃盗を中心とした犯罪被害が多く寄せられており、特にバイクを利用して金品をひったくる形態や女性が抱きつき金品を盗む形態の犯罪が発生している。

（３）当地の対日感情を損なう情報には特段接していない。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（１）ハノイ市統計局ホームページに掲載されている記事から、ハノイ市における犯罪発生状況、検挙状況等を抜粋したもの。

（2023年４月～６月実績。※（ ）内の数値は2023年１月～３月実績。）

【刑法犯関係】

ア 刑法犯発生件数 757：件（746件）

イ 刑法犯検挙人数 1,273：人（1,202人）

【交通事故関係】

ア 交通事故発生件数：131件（130件）

イ 交通事故死亡者数：66人（56人）

ウ 交通事故負傷者数：123人（101人）

（２）邦人被害事案（主なもの）

日本人観光客がノイバイ空港国際線から国内線への移動に際し、法外な輸送料金を請求される事案が発生している。

３ 銃器等使用の凶悪事件発生状況

本年６月、ダクラク省において、銃で武装したグループが人民委員会庁舎等を襲撃し、警察官４名を含む死傷者を出す事件が発生した。（※同地域での衝突に伴う殺害事件としては、１９９３年に反共産党武装ゲリラ（FULRO（フルロ））による事件以来。）その後の捜査により、７月１日時点、合計９０名の関係者が立件され、５名が特別指名手配されている。

４ テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件の発生は認知していない。

５ 誘拐（人身売買）・脅迫事件発生状況

特筆すべき誘拐・脅迫事件の発生は認知していない。

６ 日本企業の安全に係わる諸問題

日本企業に対する事件やストライキの発生（当館把握分）は認知していない。